

くさか景子の

9.9



ちよっ

と

よろしいですか!

毎月発行 県政情報紙 2008年9月 Vol.16

What's
New?



自然災害は突然やってくる!

県の地震防災対策

9月1日は防災の日です。近年、国内をはじめ世界各地で大規模な地震災害が発生しています。茅ヶ崎市では、東海地震、南関東地震、県西部地震などが予想され、災害への備えが問われています。特に、東海地震は100年から150年周期で起こるといわれ、1854年の東海地震以来154年が経過しているため、いつ発生してもおかしくないといわれています。

各地域では、防災訓練が行われ、茅ヶ崎でも8月23日24日(24日は大雨で中止)に行われました。私は、23日の夜の第1中学校体育館での宿泊訓練を見学しました。今年から始まった宿泊訓練には、地元東海岸地域の防災リーダーたちが参加され、避難所となる体育館で災害グッズの寝袋で夜を明かし、防災倉庫の食料で朝食をつくり、何事も体験することは大事だと言われていました。神奈川県の平成20年度の地震防災対策予算は、890億4230万円で、主に都市基盤整備、例えば、橋梁整備や耐震補強、土砂災害対策などですが、各市町村への地震防災対策緊急支援事業は20億円あり、各市町村での、備蓄や耐震補強事業へ補助をするというもので、茅ヶ崎市では消防車等7千万円を利用しています。また、今年の県の防災訓練は横須賀市で行われ、今年度、県は米海陸軍と災害協定を結んだので、訓練時には、米海陸軍も参加します。地元消防との連携による救出・消火訓練、艦船を利用した負傷者搬送、ヘリコプターによる緊急応援物資の搬送訓練も行います。



自衛隊テントを使っでの防災訓練



茅ヶ崎市の防災宿泊訓練

基地反対運動に取り組む市民からは、米軍参加を批判する声も出ていますが、県安全防災局としては、基地問題は別に取り組むとして、災害時の協力体制は行っていくとしています。

災害発生時には自分の身は自分で守るという意識は大切ですが、一人暮らしの高齢者、障がい者、外国人等には、地域の協力体制が必要です。日頃からの地域でのコミュニケーション見守りを深めて、いざという時に備えましょう。



真夏の江ノ島で！ 障がいのあるこどもたちとヨット体験に同行

この夏は本当に暑い日が続きましたね。皆さんはどんな夏休みを過ごしましたか？
湘南といえば海ですよ。青い海に浮かぶヨットでセーリングしたことがありますか？

誰でも一度は憧れるヨットに、こどもたちと乗ってきました。アクセスディンギーというパラリンピックの盛んなオーストラリア製の小さなヨットは、ひっくりかえったり沈没することはありません。操作も簡単で、だれでもできます。8月6日、発達障害のあるこどもたちの支援グループ「スペアチがさき」の会員の小学生たちは、積極的に船に乗り込み、海原に漕ぎ出し何度も体験しました。感想を聞くと、楽しかった！私もやってみると、これが気持ちいいのなんの、海はやっぱり私たちが癒してくれます。



江ノ島のヨットハーバーにて

ボランティアのセーリングインストラクターは、(NPO)セイラビリティ江の島の人たちです。多くは、シニアのヨットマンや女性たちで運営しており、誰でも申し込みますが、障がい者は半額だそうです。今までひきこもりだったこどもが、ヨット体験を通じて明るくみちがえるようになったとか、海に初めてきた障がいをもった方たちが安全なヨットに乗って喜んでくれたことなど話されました。

しかし、高価なヨットの維持は大変で、ハーバーでのヨット置き場料は県などの補助で免除してもらっているそうですが、運営は厳しく手弁当で活動されています。多くの人に知っていただきたいとのこと、皆さんも体験されませんか？

問い合わせ：(NPO)セイラビリティ江の島 080-1218-3378/tel

くさか景子のほっとコラム



10月16日～19日「雄三通り」一方通行社会実験行う！

雄三通りは、駅南口から134号線まで、復員8～9m、全長1220mの県道です。特に駅から鉄砲道までは、歩行者がすれ違うための安全な歩行者空間、歩道もなく、人、自転車、車、バスが錯綜しており、過去に死亡事故も起きた危ない道路です。昭和36年に拡幅20mで都市計画決定されていますが、現実には難しい状況です。

これまで何度も雄三通りのあり方が検討されてきましたが、「安全な道路空間」確保のため、今回、駅側から海へ一通の「社会実験」を行います。この結果で今後の雄三通りのあり方を考えていく検討材料となるので、皆さんも積極的に市役所へ意見を出しましょう！